

ロシア語

- 「謎の国」ロシアを知るために
- 近隣諸国（ウクライナなど）に関心がある人へ
- 日本では話者が少ない希少性
- 少人数クラスによる学習



(<http://spravochka.blogspot.kr/2012/11/azbuka.html>)

1. 日本とロシア

*ロシア語は隣国の言語・未来に向けた準備も必要

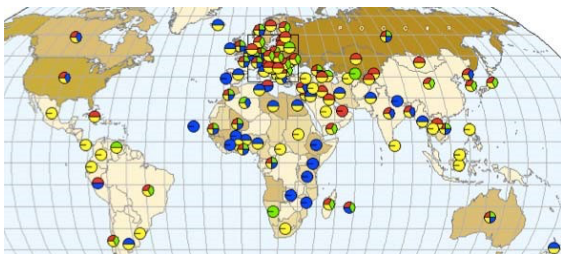
日本とロシアは、長い歴史・文化交流を持つ隣国同士です。広島市立大学からロシア極東の港町ウラジオストク市までは 1000 キロもなく、本州の青森県より近い距離です（地図参照）。2020年に JAL と ANA が直航便を同時開設し、注目されていました。また、多くの企業がロシアとビジネスを行なっていました。例えば、日本の化粧品はロシアでとても人気があり、かつては主要企業のほとんどがロシアに進出しました。コロナ感染拡大前の数年では、日本のへの観光客が最も増加した国でもあり、草の根の交流も盛んでした。ロシアでは、和食やアニメなどの日本文化も人気があります。こうしたことを踏まえると、将来を見据えた準備が重要です。対話が必要になった時に急にロシア語ができるようにはならないし、人材を急に揃えることもできません。日本ではロシア語の話者や学習者は少ないので、中・長期的な視点に立つと、希少性が非常に高いと言えます。しかも、多くの人は大学から学習を開始するため、しっかりと勉強すれば自分の特技になるかもしれません。



2. ロシア語の言語使用者

*ロシアだけではない 様々な選択肢と可能性

現在、ロシア語はヨーロッパで最も母語話者が多い言語となっています。なお、母語者、第二言語話者、言語習得者数を合わせると世界 8 位となります。こうしたロシア語を使用している人々は世界で 2 億 8 千人程度と言われていますが、ロシア連邦の人口は 1 億 4 千人ほどです。つまり、ロシア語話者の半分はロシア国外に住んでいて、さらに増加していると言われていています。主な国々はウクライナ、ベラルーシ、カザフスタン、ウズベキスタンなどの近隣諸国ですが、ドイツやイスラエル、アメリカやモンゴルなどのロシア語人口は数百万人を超えています。キリル文字も、ロシア以外には、ウクライナ、ベラルーシ、ブルガリア、セルビアなど多くの国で使われています。



さらに、ロシア語の知識はウクライナ語などのロシア語以外のスラヴ諸語を学ぶ際にも有利に働きます。国際社会や平和について考える際にロシアと近隣地域の関係は欠かすことのできないテーマですが、ロシア語はそうした問題群に迫る手段の一つです。本学にはロシア語を使ってロシア語話者の難民の方々と交流したり、北欧や東欧への留学を計画している先輩たちがいます。ウクライナ語やロシア語を使って現地のことを学んでみませんか？世界を様々な視点から見るきっかけになるかもしれません。

***文化・芸術の豊富な世界、ヨーロッパでもアジアでもない独特の自己定義**

バレエやフィギュアスケートはもちろん、その歴史を通してドストエフスキーやトルストイを始めとするロシア文学、作曲家チャイコフスキーの音楽など、ロシア芸術家は人類の貴重な遺産を生み出し、その後継者たちは、今もなお、メッセージを発信し続けています。また、ユーラシア大陸に跨るロシアは、ヨーロッパ・アジア双方の国々と強く関わり、またヨーロッパとアジアの二つの顔を持つ国です。しかし、日本ではその素顔はあまり知られていません。ニュースで話題となっているロシアとはそもそもどのような国なのか。ロシアの人々、その文化や歴史との対話を続け、さらに研究を進めることは、今後長期にわたって日本や世界にとっての重要課題となります。ロシア語は、日本とは文化的、歴史的背景が全く異なり、私たちにとって謎であり続けているロシアを知るための、また、多様な人々による「声」に耳を傾けるための言葉でもあります。

3. 広島市立大学でのロシア語学習

2年間のロシア語カリキュラムやロシアに関する専門科目を揃えているのは、広島では市立大学だけで、中国・四国地方でも限られています。日本人とロシア人の教員によるチーム・ティーチング、少人数制で文法から発音の練習まで、ゆっくり丁寧に教えていきます。グループワークやゲーム的要素を取り入れ、みんなでロシア語の歌を歌うこともあります。

本学の受講者からは、「難解な言語だと思っていたが、意外と学習しやすかった」といった声を耳にします。英語などヨーロッパ諸言語と近い関係にもあるので、基本構造などこれまで学習してきた英語等の知識を活用することもできます。



I	watch	television	in the room
主語	動詞	目的語	前置詞＋名詞
Я	смотрю	телевизор	в комнате

ロシア語が気になっている方や、迷っている方は遠慮せずに気軽に相談・質問してください！(学生による留学体験記：大学HP>国際交流・留学>短期語学留学プログラム)